

肝炎ウイルス検診

対象

40歳以上

(これまで受診したことがない方)

ウイルス性肝炎は、A、B、C、D、E型などの肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。中でもB型、C型肝炎ウイルスについては、感染すると慢性の肝臓病を引き起こす原因となります。また、肝がんの原因は80%がC型肝炎ともいわれています。

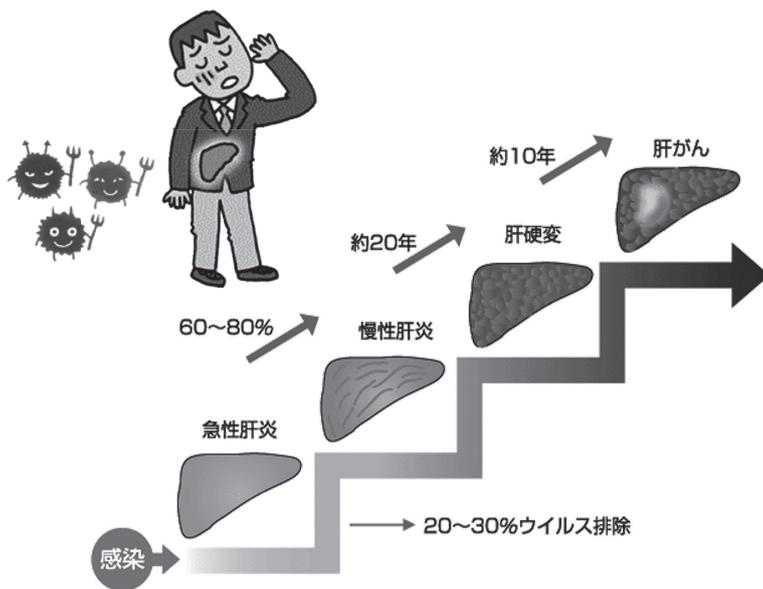
症状

肝炎になると、肝臓の細胞が壊れて肝臓の働きが悪くなります。一部の方では、**倦怠感、食欲不振、吐き気、黄疸（皮膚が黄色くなること）**などの症状が出ることがありますが、**全く症状が出ないことも少なくありません**。「体がだるい」と気づくころには、かなりの重症になっていることもあります。

検査方法

血液検査（HBs抗原検査、HCV抗体検査）

日本では肝炎のほとんどが、肝炎ウイルスによって起こる「ウイルス性肝炎」といわれています。肝炎ウイルスに感染していても、適切な健康管理・治療で、肝炎から肝硬変や肝がんへ悪化するのを予防することが可能です。



肝臓は再生能力が高く、手術でその半分以上を切り取っても元の大きさまで再生できるほど丈夫な臓器です。

しかし、肝炎になると徐々に肝臓の機能が失われていき、肝硬変や肝がんへと進行してしまいます。

出典：国立研究開発法人国立国際医療研究センター
肝炎・免疫研究センター肝炎情報センター

《肝炎ウイルス検診について》

酒田市では各集団健診、人間ドック、個別健診で受診することができます。詳しくは「令和6年度酒田市住民健診ガイド」または酒田市民健康センターの検診受付電話にてご確認ください。

山形県では保健所又は委託医療機関でも肝炎ウイルス検査（県が医療機関に委託して実施する検査）を行っており、対象医療機関でB型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルス検査が無料で受けられます。詳しくは庄内保健所又は医療機関にお問い合わせください。

※山形県の肝炎ウイルス検診に該当する方

- 山形県内に住所がある方
- 過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方
- P2の肝炎ウイルス血液検査費用助成に該当しない方

